



京都部会(第 20 回)

日 時: 2013 年 7 月 19 日(金) 19:00~21:00

場 所: 同志社大学 良心館

参加者: 篠原総一(同志社大学)、下村和平(山城高校)、大谷和海(関西大学中高等部)、西村理(同志社大)、川上敏和(同志社大)、上畑直久(京都市総合教育センター)、柳史郎(安曇川高校)、奥村光太郎(伏見中学校)、絹川温子(同志社大)【順不同】

【内容要旨】

- (1) 経済教育ネットワークの篠原総一代表者から 8 月に開催予定の「先生のための夏休み経済教室」の申し込み状況や「経済教室 in 札幌」などについての報告がなされた。また、6 月の東京部会で取り上げられた「社会保障制度」の問題点についての報告が行われた。
- (2) 続いて、篠原総一氏より、中学校の公民の教科書(3 社)に記載されている「市場のはたらき」に該当する部分を示しながら、「市場メカニズム」と「価格調整メカニズム」の正確な意味、あるいは「需要と需要量」「供給と供給量」の区別について説明をされた。さらに、教科書では競争価格や独占・寡占価格がすべてのような印象を与える記述になっているが、その他にも公共料金や差別価格、あるいは二部料金など様々な価格の決まり方があることを指摘された。

(文責: 西村理)

次回開催予定: 2013 年 9 月 27 日(金) 19:00~21:00 (同志社大学 良心館)